

# CBAP®受験体験記

後藤 章一

## 1 CBAP®受験事始

私がCBAP®受験を本格的に決意したのは、2011年2月中旬です。

それまでもIIBA®のCBAP®試験申込ページで試しに一部情報を登録する程度はやっていたのですが、BABOK®に関する活動を通してある程度の理解が得られたと思えたため、その確認の意味も込めて受験してみることにしました。

本文書では、主にCBAP®受験までの手続きや窓口とのやり取りを主眼に経緯を記述します。今後、受験を検討されている方のご参考になれば幸いです。

### CBAP®受験に要した期間

私がCBAP®受験に要した期間は約4か月で、以下のような流れでした。

2011年2月	3月	4月	5月
<ul style="list-style-type: none"><li>● 学習要件のクリア</li><li>● 出願手続</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 受験料の支払</li><li>● 受験会場の予約</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 受験</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 合格通知</li></ul>

以下、時系列に沿って振り返ってみたいと思います。

## 2 【2011年2月】学習要件のクリアと出願手続

### 学習要件のクリア：E-LEARNING の活用

CBAP®試験を受けるためには、専門学習を受けて21ポイント（21時間相当）のCDUを得る必要があります。

2011年2月中旬に、私はIIBA®本部サイトにバナー広告があるBA Mentor (<http://www.thebamentor.com>)のe-learningコース「Self-Paced CBAP® Exam Prep」を受講して、CDUを取得しました。このコースを選んだのは、時間や場所を選ばないe-learning形式であったためと、IIBA®本部バナーに記述されている20%割引のコードが魅力的だったためです。



「Self-Paced CBAP® Exam Prep」は3カ月間利用可能なコースです。

CDUを取得するためには、まずBABOK®ガイドの各章に対応して10問ずつ出題される確認問題をパスした上で、150問の最終試験にパスする必要があります。これらの課題は何回でも受け直すことができますが、出題内容は毎回ランダムです。

「Self-Paced CBAP® Exam Prep」の学習コンテンツはBABOK®ガイドをサマリした簡単なPodcastや補足資料程度で、インプット学習教材として充実しているとは言い難いのですが、1000問以上という大量の問題が用意されていることが大きな「売り」となっています。前述した課題をパスした後も、これらの問題には何度でも挑戦することができます。

したがって、ある程度BABOK®ガイドを理解している方であれば、繰り返し問題を解いてCBAP®試験の出題形式に慣れるとともに、弱点の補強に活用すると良いと思います。私自身は1週間程度の期間で受講を完了しましたが、それ以降も通勤中にスマートフォンからアクセスして、問題を解くなどしていました。

### 出願手続：業務要件登録と推薦状の依頼

CBAP®受験の大きな難関のひとつは、間違いなくこの出願手続でしょう。特に受験資格のうち、7,500時間の業務要件の登録は、その入力だけでも重労働です。

私はCDUの取得と同時期の2011年2月中旬頃から1週間程度かけて、過去10年以内の思い出せる業務を登録していきました。登録した全体の時間数から、BABOK®に定義されている知識エリア以外の活動は間引かれてしまうため、多めの時間数を登録できるように業務経験を全て棚卸するつもりで入力しました。その結果、7,500時間の要件に対して10,000時間以上を登録することができました。

結果として出願は無事に受理されたので、今までの業務内容をできるだけ棚卸して、多めの時間数を登録するように心掛けると良いでしょう。同じような手順を何度も繰り返すので登録中に気が遠くなってきましたが、再出願となると更に時間と出願費用が掛かってしまいます。

また業務実績の登録と併せて、この時期に社内で推薦状(Reference)の登録をお願いして、対応して頂きました。受験者がWeb上のApplication Formで推薦状を作成して貰う相手を登録すると、その相手にメールが届きます。メールに推薦状登録用のURLが記述されていて、推薦者はそこに必要な情報を記述することになります。

推薦状の登録も記述項目が多く、結構手間が掛かったそうなので、出願したい時期から逆算して、余裕をもってお願いした方が良いでしょう。

学習要件や業務経験を含めた全ての出願項目の登録が完了し、2件の推薦状の登録がWeb上で確認されると、出願実行用のボタンが押せるようになります。私は2月下旬に申請を実行することができました。

## 3 【2011年3月】 受験料支払と受験地予約

### 受験料の支払：PAYPALによる支払手続

出願申請から1週間程度経ち、3月頭に出願が受理された旨のメールが届きました。件名は「CBAP® Application Approved」で、次の受験料支払手続についての説明が記述されていました。

受験料の支払方法は国際郵便為替か Paypal のどちらかで、クレジットカード決済は今のところ使用できません。

私は Paypal アカウントを持っていたので、手軽な Paypal を使うことにしました。Paypal を使用して受験料を支払うためには、メールでその旨を申し込む必要があります。そこで、CBAP®認定窓口である [certification@iiba.org](mailto:certification@iiba.org) へ、以下のようなメールを送付しました。

*I'm Goto Shoichi, a CBAP exam candidate and an IIBA member in Japan. (私は日本の IIBA 会員で CBAP 受験者の後藤章一と申します)*

*Thank you for your notice of approval. (出願受理のご通知ありがとうございます)*

*Please let me know what I need to take to pay my exam fee via Paypal account.*

*(Paypal アカウントによる受験料支払に必要な手順をお知らせください)*

拙いメールでしたが、同日中に返信が届きました。迅速な対応に驚きです。

メールには、申請に対応して作成された Paypal 決済ページの URL と併せて、注意事項や手数料に関する説明が含まれていました。対象の URL を開き、通常の Paypal の利用と同様に決済手続を行うことで、問題無く受験料を支払うことができました。

念のため、受験料を支払った旨をメールで担当者へ連絡しておきました。

*Thank you for your quick response to my request. (迅速なご対応ありがとうございます)*

*I've just paid my exam fee without any trouble. (問題無く受験料をお支払い致しました)*

*I greatly appreciate your support! (手厚いサポートに感謝します!)*

翌日、「Exam Fee Received」という件名のメールが届き、受験料支払が無事に手続きされたことが確認できました。Paypal による受験料支払はメールのやり取りや手数料が発生するものの、国際郵便為替に比べると非常に簡単で、手早く手続きを済ませることができます。受験を急ぐ方や手間を掛けたくない方には、今のところ良い選択肢ではないでしょうか。

## 受験会場の予約：日本の会場が選べない！

受験料支払の完了から2週間弱経った3月中旬に、Castle Worldwide から NTS (Notice To Schedule) メールが届きました。ご存じのとおり、2011年3月11日には東日本大震災が発生し、公私ともに対応すべき事柄も多かったため、CBAP®受験については半ば忘れていたような状況で、このメールがリマインダになりました。

届いたメールには受験会場予約ページの URL とともに、予約キャンセルや変更に関する注意事項が記載されています。早速 Castle Worldwide の Web ページへアクセスして受験日時を予約しようとしたのですが、受験会場の選択肢に日本がありません。

まさか震災の影響で国内受験できなくなったのでは…と不安になりながらも、再び窓口へ確認してみました。

*I'm Goto Shoichi, a CBAP exam candidate in Japan. (CBAP 受験者の後藤章一です)  
Thank you for your support to my application. (出願のご対応ありがとうございます)*

*Though I've accessed the Castle Worldwide web page to schedule my exam,  
Tokyo / Japan is not listed for the exam location. (受験予約のために Castle  
Worldwide のページへアクセスしたのですが、受験地の選択肢に東京がありません)  
I'd appreciate it if you could modify my application status to let me submit my  
exam schedule in Tokyo / Japan. (東京会場が予約できるように申込情報を修正頂け  
ないでしょうか)*

このメールに対しても同日中に返信があり、Castle Worldwide のスタッフへも Cc して、直接の対応をお願いする内容でした。同日中に Castle Worldwide のスタッフからも、受験候補日を教えてほしいというメールが届きました。

あまり受験日を先送りしても仕方ないので、e-learning コースで解いた問題の記憶が新しいうちに受験することにしました。

*Thank you for your quick response. (素早い対応ありがとうございます)  
I'd like to take the exam by the end of March or early in April: (3 月終わりか 4 月初  
旬までに受験したいと思っています)  
(~希望日程提示~)  
I appreciate it if you would coordinate for me. (ご調整頂けると助かります)*

2~3 日後、「IIBA - Scheduling Confirmation Notice」という件名のメールが届き、提示した候補日から予定が組まれたことが確認できました。これで、後は実際に受験するだけです！

上記のとおり、メールでのやり取りや問合せが発生したものの、窓口の個々の対応は非常に迅速で手慣れた印象を持ちました。今後、決済の選択肢が増えたり手続の自動化が進んで、もっと受験の敷居が下がることを期待したいです。

## 4 【2011 年 4 月】 受験

4 月頭、CBAP®試験を受けるためにテンブル大学日本校へ向かいました。休日ということもあり、建物内は非常に静かで、待合室も私以外には PMP の受験者が数人いる程度でした。

受付を済ませてしばらく待つと、PMP 試験とは別の部屋に案内され、いよいよ試験開始となりました。Prometric による試験とは異なり、荷物をロッカーに預けたり持ち物チェックが厳密にされたりするわけではありませんが、監督者が後ろの席についている環境での試験となるので、不正に対してはしっかりチェックされています。

試験は 150 問の 4 択問題で、制限時間は 3 時間半あります。途中で選択に迷う問題があった場合は、フラグをチェックしておくことで、後から簡単に戻ることができるようになっています。このあたりは、PMP 試験と同様です。

システムが一部不安定なのか、私が受験した際には、途中でフラグを立てると例外を吐いて処理が停止してしまうトラブルがありました。監督者に言えばすぐに復旧して貰えますが、それ以降のフラグ操作は少々ハラハラしてしまいます。

全ての問題を解き終わって試験終了ボタンを押せば、手続や試験に関する簡単なアンケートに回答して試験は終了です。無事に合格した場合は、「Congratulations!」の文言が表示されますので、すぐに分かると思います。

特に受験証明などの発行もしていないようで、試験完了が表示された時点で監督者へ終わった旨を報告し、そのまま荷物を持ってテストルームを退出しました。受験までの手続が大変だったこととは対照的に、実際の受験とその後のやり取りについては拍子抜けするほど気に掛ける部分がありません。

## 5 【2011年5月】 合格の通知

CBAP®ハンドブックによるとメールで合格通知が来るはずなのですが、受験から1カ月が経過してもIIBA®本部からの通知はありませんでした。

CBAP®試験合格の事実は試験完了時のPCディスプレイ表示でしか確認できなかったため、本当に合格扱いになっているのか、待っている時間とともに段々と不安になってきてしまいました。4月の下旬になって、「CBAP® Application Approved」という出願が受理された旨のメールが何故か届いたりして、ますます心配になってきます。

窓口とメールでやり取りしていたために、手続上のステータス管理と前後してしまったのかもしれませんが、ちょっと不安になってしまうので、改善して頂きたいところです。

そろそろ問い合わせしてみようかと考え始めた5月中旬になって、「Update on CBAP® Package and more」という件名のメールが届き、無事合格として扱われていることが分かりました。これでようやくひと安心できました。

## 6 所感

### やはり手続が大変

CBAP®受験を振り返ると、概して試験としてのシステムがまだまだ未成熟な印象を受けました。例えば、受験料の支払に手間が掛かること、個々にメールでのやり取りが必要になることなどが挙げられます。これらが、試験内容以前の段階で受験への敷居を高くしている感は否めません。

とはいえ、個々人の対応は迅速・丁寧で、やり取りにおいて不満を感じるようなことはありませんでした。皆さんが受験される時も、不明な点やうまく行かない点があれば、恐れず問い合わせしてみることをお勧めします。きっと丁寧に対応して頂けると思います。

現在はまだ受験者数が少ないため回せているのだと思いますが、今後の受験者数の増加に伴って、これらはよりシステムチックな形式に改善されていくでしょう。それによって、手続周りが一層容易になることを期待したいところです。

受験を検討されている方は、当面は余裕を持ったスケジュールで手続に臨まれた方が良いと思います。

## 問題演習中心の勉強がおすすめ

受験対策については、*BABOK®*ガイドの内容を理解することは当然前提です。しかし、あまりに長い時間を掛けてガイドや参考書籍を読み込むよりは、できるだけ早い段階から問題を沢山解くスタイルの学習に切り替えた方が良いと思います。

その理由として、CBAP®試験の出題内容や MC (Multiple Choice) 形式に慣れておくことや、理解が薄い部分に早めに気付くことなどが挙げられます。特に、*BABOK®*ガイドに定義されている各 Task に関連する Role や Technique の把握は、いかにも試験勉強的な部分だと感じられます。正直、これらは実務経験だけではピンとこないケースもあり、問題に当たってみることで初めて理解不足に気付くことも多かったです。

したがって、(*BABOK®*ガイドをある程度理解した上で) まずは問題を解き、解けなかったり間違ったりした問題に関連するガイド部分を参照してインプットし直し、再度問題を解く、というサイクルを回すのが、受験対策としては効率的だと思います。